

## 高浜再稼働

# 16日に各派意見表明 県議会 知事出席し質疑も

県議会は7日、全員協議会を開き、関西電力高浜原発3、4号機の安全対策などについて資源エネルギー庁、内閣府、原子力規制庁の担当者から説明を受けた。その後、各会派の代表者会議を開き、定例議会の会期末前日の16日に全員協議会を開いて各会派が再稼働に対する意見を述べると決めた。

エネルギーは、将来の電源構成比率などエネルギー政策全般について説明し、規制庁は新規制基準や適合審査の結果について概要を説明した。内閣府は高浜原発での広域避難計画について、

関係府県からなる地域原子力防災協議会の作業部会で計画内容の調整が完了したと説明。「協議会ではできるだけ早く開催する」と報告した。

県議からは「使用済み核燃料について明確な対応が示されていない」「県境を越えた広域避難計画が確定しておらず、訓練もしていない中で再稼働するべきではない」「広域避難訓練は国が責任をもって実施するべきだ」などの意見があった。

16日は午後から全員協議会を開き、西川一誠知事も出席。各会派が知事らと質疑し、再稼働の賛否について意見を述べるといった。

(堀川敬部)